第 11 講 【系統地理編】人口，人口問題
PART5 日本の人口問題

Chapter 1　日本の人口動態と地域差

目標
日本の出生数は，第一次ベビーブーム時と現在でどの程度の差があるだろう。
現在の日本において，出生率が高いのは都市と農村のどちらだろう。

1　日本の人口の変遷

1. 19 世紀後半から 20 世紀前半（明治から昭和初期）

・ 1872 年時点の人口は，**約 3,500 万人**。

→**多産少死**の人口動態で**人口増加率**は高く，1912 年には **5,000 万人**を超える。

2. 20 世紀中頃（戦後から高度経済成長期）

・男性の復員もあり，人口が増加。

→〔　　　　　　　　　　〕（1947 ～ 49 年）には，年間の出生数が **250 万人**を超える。

・1950 年時点の人口は，**約 8,300 万人**。

→高度経済成長期の 1967 年には，**人口 1 億人**を突破。

・しかし，第一次ベビーブーム以降は，**第二次ベビーブーム**（1971 ～ 74 年）の時を除き，出生率は**低下**し続ける。

→次第に〔　　　　　　　〕の人口動態となる。

3. 20 世紀後半から 21 世紀（現在）

・**少子高齢化**が進行し，1970 年には**老年人口割合**が 7％を超え，〔　　　　　　　　　〕に突入。

年代	人口動態
1974年	・合計特殊出生率が人口置換水準の**2.1**を切る。
1980年代	・出生数が**150万人**を割り込み，合計特殊出生率は，**1.7**台に。 ・高齢者の数がさらに増加したことで，死亡率が高くなり，〔　　　　　　　〕の時代に。
1994年	・老年人口割合が〔　　　〕％を超え，**高齢社会**に突入。
1997年	・老年人口が，年少人口を超える。
2007年	・老年人口割合が21％を超える，〔　　　　　　〕**社会**に突入。 →「世界で最も高齢化が進んだ国」の一つに。
2008年	・日本の総人口のピークである，**約1億2,808万人**を記録。 →その後**人口の減少開始**。年間に数十万人ほど人口が減少している。
2021年	・総人口は，**約1億2,550万人**。 ・出生数は**約80万人**。死亡数は約**144万人**の少産多死社会。合計特殊出生率は**1.30**。 ・2020年→21年で，人口は約**65万人**減少した。

2 日本の人口分布の偏り

・日本の人口の９割は**都市**に集中し，**農村**の人口は少ない。

1. 都市

・〔　　　　　　　　　　〕**期**以降，豊富な雇用や高賃金の仕事を求めて，多くの人口が**都市**に流入した。

・特に**東京大都市圏**への一極集中は顕著で，人口は現在でも伸長している。大都市圏の都心部では，**交通渋滞**や**大気汚染**などの公害，住環境の悪化，**地価の高騰**など，〔　　　　〕による問題が発生。

・東京大都市圏では若い世代の割合が高いので**出生率**が高く，総人口も多いことから，**出生数**は多くなる。

2. 農村

・雇用を求め，若い世代を中心に人口が都市へと流出したことで**高齢者**の割合が上昇。

・死亡率が出生率を上回ることで自然減少が生じ，〔　　　　〕化が進行。

・極端に高齢化が進行（老年人口割合が上昇）した〔　　　　　　　　〕も発生している。

まとめ
第一次ベビーブーム時には 250 万人，現在 80 万人。3 分の 1 に減少。
都市。都市は若い世代の割合が高く，出生率も高くなる。

Chapter 2　日本の人口問題への取り組み

目標
農村で，人口を増やすために行われている施策について知ろう。
現在，日本の外国人労働者は，どこから来た人が多いだろう。

1 日本の農村における人口問題

1. 日本の農村の現状
・若い世代が都市へと流出したことにより，人口が**社会減少**。**老年人口**の割合が上昇する。
・死亡率が出生率を上回り，人口の**自然減少**が生じる。
・出生率と死亡率の差が拡大すると，**少子高齢化**が深刻化する。
・**過疎化**の進行。極端に高齢化が進行した**限界集落**も発生。

2.　少子高齢化の問題と対策
・人口減少により，**地域自治**を存続できない地域も。
・地域の文化や伝統を継承する人材の不足。
・民間バスの不採算による撤退など**交通機関**の衰退や，**小売店**の減少など。
　→〔　　　　　　　　　　〕・**I ターン**の奨励，空き家を利用した**企業誘致**を行っている。
　→〔　　　　　　　　　　〕など販売手段を工夫し，交通弱者を支援。

2 日本の都市における，人口問題

1. 日本の都市の現状
・**高度経済成長期**以降，豊富な雇用や高賃金の仕事を求めて，多くの人口が都市に流入した。
　→特に**東京大都市圏**への一極集中は顕著で，人口は現在でも伸長している。大都市圏の都心部では，**交通渋滞**や**大気汚染**などの公害，住環境の悪化，**地価の高騰**など**過密**による問題が発生。

2.　都市の問題と対策
・保育所が不足し，〔　　　　　　　　　　〕の問題が生じている。
・〔　　　　　〕・医療施設や，そこで働く人材の不足。
　→施設の新設や〔　　　　　　　　　　　　　〕化などの改修，労働力不足を補うための**ICT 活用**, 労働環境改善,〔　　　　　　　〕**労働者**の受け入れなどを検討する必要がある。

3 労働力不足の問題と対応

・現在日本では，恒常的に15歳から64歳までの〔　　　　　　　　〕**人口**が減少している。

→将来，労働力不足となり，**経済活動の停滞**が懸念される段階に突入している。

・不足する労働力を補うために，現在では**外国人労働者**の受け入れが行われており，今後もさらに拡充させる可能性も。

→**社会保障**の問題や，**文化的**な違いなど，克服すべき問題も多い。

1. ブラジルからの受け入れ

・ 1990年以前の日本では，外国人の労働者は，原則として**専門的な技能**を持つ場合に限定していたが，法改正により，〔　　　　　　〕に限り**単純労働**であっても国内での就業が可能となった。

→日系人の多い〔　　　　　　　　〕からの入国が急増し，主に**自動車など製造業**に従事している。

2. アジアからの受け入れ

・ 2000年代以降，日本はアジア諸国などと**EPA**（**経済連携協定**）を結び，**中国**や〔　　　　　　　　　　〕と**外国人技能実習制度**を整えている。

・**中国**，**インドネシア**，**フィリピン**，**ベトナム**から多くの**外国人技能実習生**を受け入れている。

・外国人技能実習生を受け入れる職種は決まっており，農業・漁業関連や，介護作業など。

まとめ
Uターン・Iターンの奨励や，空き家を使った企業誘致など。
ブラジル出身者や，EPA（経済連携協定）を結ぶアジアの国々など。

第 11 講　PART5　確認問題

1 日本で第一次ベビーブームが生じたのは，いつ頃か。

① 1930 年代後半　② 1940 年代後半
③ 1950 年代後半　④ 1960 年代後半

2 日本が高齢化社会に突入したのは，いつからか。

① 1970 年代　② 1980 年代
③ 1990 年代　④ 2000 年代

3 日本の人口について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1990 年代に高齢社会に突入した。
② 1990 年代後半に老年人口が年少人口を超えた。
③ 日本の総人口のピークは約 1 億 2,800 万人である。
④ 現在の日本の合計特殊出生率は 2.0 である。

4 日本の人口分布の偏りについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 日本の人口の 9 割は都市へと集中している。
② 高度経済成長期以降，東京大都市圏への一極集中が顕著になっている。
③ 東京大都市圏では住環境の悪化から，出生率が低く出生数は少なくなる傾向にある。
④ 農村では，極端に高齢化が進行した限界集落も発生している。

5 東京大都市圏への一極集中で生じている問題として，**正しくないもの**はどれか。

① 交通渋滞　② 住環境の悪化
③ 大気汚染　④ 地価の下落

6 地方で行われている人口問題への取り組みとして，**正しくないもの**はどれか。

① 移動販売の実施など販売手段の工夫。
② U ターンの奨励。
③ 民間バスの増便。
④ 空き家を利用した企業誘致。

7 日系人に限り単純労働であっても国内での就業を可能とする法改正により，どの国からの入国者が特に多くなったか。

① アメリカ合衆国　② ペルー
③ メキシコ　④ ブラジル

8 日本と EPA（経済連携協定）を結び，多くの外国人技能実習生を送り出している国に**あてはまらない国**はどこか。

① インドネシア　② カンボジア
③ フィリピン　④ ベトナム

第 11 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：②　日本で**第一次ベビーブーム**が生じたのは，第二次世界大戦直後の 1947 ～ 1949 年である。

2 解答：①　日本が**高齢化社会**に突入したのは **1970 年**である。高齢化社会は，全人口に占める老年人口の割合が 7%を超える社会をいう。

3 解答：④　2021 年の日本の**合計特殊出生率**は **1.3** であり，少子化が深刻である。

4 解答：③　**東京大都市圏**では再開発が進み，若い世代の流入が見られ，**出生率**は地方に比較して高い傾向にある。

5 解答：④　東京大都市圏への一極集中で生じている問題の一つとして，**地価の高騰**が挙げられる。

6 解答：③　地方では不採算により**民間バスが撤退**するなど，**公共交通の衰退**が見られる。そのため，移動販売の実施など販売方法の工夫や，ライトレール交通の整備などを進めている地域もある。

7 解答：④　日系人に限り，単純労働であっても国内での就業が可能となる法改正により，**ブラジル**からの入国者が特に多くなった。自動車工場などで勤務する者が多い。

8 解答：②　日本と EPA（経済連携協定）を締結している**インドネシア**，**フィリピン**，**ベトナム**から多くの**外国人技能実習生**が来日している。日本は**カンボジア**とは EPA を結んでいない。